

ながおき べんけい
長沖 弁慶

種 別	国登録有形文化財 建造物
登録年月日	平成27年11月17日
所在地	安宅町

弁慶は、長沖の母屋北側に建つ2階立ての建物である。石川県の繊維産業を代表する企業、一村商事株式会社⁽¹⁾の接客用座敷として金沢市尾山町に建てられ、同社の社長宅としても使用された。築造は棟札⁽²⁾から昭和10年(1935)と判っている。昭和54年に長沖が購入・移築し、現在長沖の座敷として使用されている。

一村商事は、明治27年(1894)の生糸羽二重商個人創業に始まり、戦後は一村産業株式会社として県下最大の繊維商社に成長した。

接客用座敷として建てられたことから、間取りの大半が客座敷で、生活のための空間がほぼみられないことが特徴的である。一・二階ともに西側に二間続きの客座敷を設ける間取りは同じだが、欄間や天袋、障子の意匠など、二階座敷はより装飾的である。全体的に意匠は数寄屋風であるが、階段や二階の座敷など、各所に近代建築的な要素が盛り込まれている。

弁慶は、県下有数の繊維会社が建てた、意匠的にも優れた数寄屋住宅で、当地の繊維産業の隆盛を伝える貴重な遺構である。



(1) 一村商事株式会社

：一村産業株式会社の前身

(2) 棟札

：建築物の造営などの際に、
建物の由緒や関係者、建
築年月日などを記した札。

